



いたびつ 板櫃 <校訓>  
真理の探究  
自主躍進



令和5年12月1日(金)発行  
校長 栗原博巳  
北九州市小倉北区白萩町8番1号  
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>  
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～  
<目指す生徒像>  
①「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)  
② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)  
③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)  
④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

## 生徒会役員改選選挙が行われました！

11月30日(金)5・6校時に生徒会役員選挙(立会演説会・投票)が行われました。今年は、12名の生徒が立候補しました。今週は、学級や学年を越えて、毎朝選挙活動を行いました。

生徒会役員選挙は、みなさん一人一人が生徒会の一員であることを自覚することができるよい機会です。学校生活の充実と向上を図る生徒会のリーダーを決めるものなので、立候補者のみならず立候補者以外のみなさんにも、「よりよい学校とは何か」を考え、意識を高めてほしいと思います。立会演説会では、立候補者の公約をよく読み、自分のこととして考えることで参加する意識が高まったはずです。また、立候補者したみなさんは、どのような学校にしたいのかを、分かりやすく聞く側に伝えることができたと思います。投票では、立会演説会や立候補者の公約、選挙活動等を参考にして、自分の考えで投票できましたか。自分たちの学校の代表を自分たちで決めることへの責任や心構えについて学べたはずです。思いつきで投票した人はいないと思いますが、立候補した側、投票する側、両方とも責任をもっていくことが大切です。

また、この日は、公職選挙で実際に使われている投票箱や記載台を活用しました。きっと、みなさんの意識が高まったことでしょう。

生徒会役員選挙後は、役員に選出されたみなさんだけでなく、立候補者以外のみなさんも、生徒会活動に参画することを通して、よりよい学校生活づくりに関わっていきましょう。

【選挙については右の内容を参考にしましょう。3年生が公民で勉強すると思います】

生徒会



【生徒会選挙 校長先生の話(当日は一部割愛しています)】

みなさん、こんにちは。今回の選挙には、12名のみなさんが立候補してくれました。まず、立候補した皆さん、その積極的な姿勢は素晴らしいと思います。板櫃中のために、自分から意欲的に働こうとする気持ちをもっている人がたくさんいることをうれしく思います。本日投票も行われますが、もし、今回の選挙で残念ながら当選しなかったとしても、自から立候補をしたということ自体とてもすばらしく、立派なことです。結果にかかわらず、大きな拍手を送りたいと思います。

生徒会役員が今回決定をいたしますが、生徒会は、みなさん方一人一人全員がメンバーです。みんなで選んだリーダーをみんなで支えてください。このあとの演説をしっかりと聞いて、人の意見に左右されず、自分の考えで投票してほしいと思います。

ここで、立候補者のみなさんのキーワードを集めました。「親しみやすく過ごしやすい学校」「他学年との交流を増やす」「感謝の言葉が絶えない優しい学校」「one team 過ごしやすい場所」「勇気・本気・笑顔を大切に」「明るい笑顔あふれる学校」「元気で明るく笑顔で過ごせる学校」「学年が違って仲良くなれる」「青春を作っていける学校」「誰もが通いたいと思える学校」「一人一人が参加できる生徒会」「全校生徒一人一人に寄り添える学校」どれもすばらしい考えです。

ここで、みなさんをお願いします。生徒会がみなさんに何をしてくれるのかを待つばかりではなく、みなさんが生徒会のメンバーと一緒に、学校のために何ができるのかを考えてください。板櫃中の生徒、先生方、保護者・地域のみなさんがそのような考えをもっていれば、板櫃中はもつとすばらしい学校になると思います。今後の板櫃中学校の生徒会活動の成長を期待します。

それでは、立候補者のみなさん頑張ってください。以上で校長先生の話を終ります。